

うるま市

Shakyo

社協だより

No.30

【2022年7月発行】

＝編集・発行＝

社会福祉法人

うるま市社会福祉協議会

TEL : 098-973-5459

FAX : 098-974-5306

ホームページ : uruma-shakyo.net

民生委員・児童委員の日

児童福祉週間

～支え合う 住みよい社会 地域から～



民生委員・児童委員は、地域住民の立場にたって地域の福祉を担うボランティアです。担当の区域において、高齢者や障がいのある方などの安否確認や子どもたちへの声掛けなどの見守り活動を行っています。また、地域住民の身近な相談相手として、福祉的課題を抱えた方々の相談に応じ、必要な支援が受けられるよう、市社協のコミュニティソーシャルワーカーが関係機関へのつなぎ役として活躍しています。

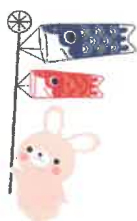
毎年5月12日から5月18日までを全国一斉「民生委員・児童委員活動強化週間」として定めており、うるま市民生委員児童委員協議会では、地域の福祉増進の相談役として市民へPRするため、5月9日うるみん正面玄関前にて「活動強化週間出発式」を開催しました。さらに、市内38か所に横断幕も設置し民生委員活動の広報を行いました。

また、子どもの健やかな成長について考えることを目的として、5月5日から5月11日を「児童福祉週間」とし、児童福祉の理念の普及・啓発のため市社協と市民生委員児童委員協議会では、こいのぼり掲揚式（石川地区）や各保育園への訪問（プレゼント配布）を行いました。

うるま市民生委員児童委員協議会では、地域福祉の充実のため、共に活動して頂ける方を募集しております。ご興味のある方は是非、お問合せください。

お問い合わせ先：うるま市役所福祉政策課（098-989-0203）

うるま市社会福祉協議会（098-973-5459）



「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

肝ぐるあーち事業とは？

一人暮らしの高齢者や認知症の増加など、日常生活支援を必要としている高齢者は日々増加しています。年を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域住民同士の支え合いなどの仕組みが必要です。

本事業は、福祉圏域ごとにモデル地区を指定し、地域住民の福祉に対する学習の機会を設け、年齢問わず地域全体での互助意識を高めるとともに、活動の見える化をとおして、その活動がうるま市全体へ波及していくことを目的としています。



今回は勝連浜地区を紹介します

浜区は、日頃から近隣の助け合いのある地域ではありますが、災害時の支援について話し合いが行われ、高齢者世帯・気になる世帯の名簿の作成からスタートして、地図に色分で明記し「見える化」することで高齢者世帯などの確認がスムーズになりました。また災害時の避難場所までの避難体験をし、避難場所の案内看板があれば、島内外の方でもスムーズに避難できるのではという事で、案内板の作成と設置を行い今では住民に喜ばれていいます。

(モデル事業に参加して、家族と災害について話す機会が増えたとのことです。)



避難場所へ誘導するための看板作成



作成を終えた看板の設置



色分けされた地図の完成図

ふれあい総合相談支援事業

相談窓口の
ご案内

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)をご存じですか？

市社協では、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)と呼ばれる相談員を配置しています。

CSWは、年齢や障がいの有無に関わらず、地域で生活する福祉課題等を抱えた住民を支えていくために、活用できる公的な制度だけでなく、近隣の見守りや助け合いなど地域の力も活用しながら支援しています。

また、専門機関などと協力しながら福祉サービスの支援がスムーズに行えるよう、ネットワークをつくり、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」に向けた取り組みを一緒に考えます。相談は無料ですので、福祉と健康に関する「困りごと」など各地区(具志川・石川・勝連・与那城)の担当CSWまでお気軽にご相談ください。

■お問合せ先：本所（うるま市安慶名一丁目8番1号うるみん2階）
☎ 098-973-5459





市内で子ども子育て支援活動を行う活動者が一堂に集う！

「うるま市子どもの居場所ネットワーク連絡会」



4月15日、沖縄県社協と共催で『うるま市子どもの居場所ネットワーク連絡会』を市健康福祉センターうるみんで開催しました。連絡会には、市内で子ども食堂や子どもの居場所づくりなど子ども支援を行っている活動者22名が参加し、グループに分かれて活動成果や課題などを共有しながら、お互いの活動を振り返り、その後の活動に必要な情報収集などを行いました。

参加した皆さんからは、“もっとこんなのあったらいいな～、活動しやすいな～”として、「部活動リユース」「自由に使える活動資金」「ボランティア・お助け人」「世代間や地域との交流イベント」などたくさん意見があがりました。

連絡会終了後には、参加者同士のグループLINEが立ち上がるなど連携のきっかけづくりとなりました。



ワークショップの様子



グループ発表！

「福祉のお仕事・就活応援フェア」を開催！

3月25日、『うるま市福祉のお仕事・就活フェア』を市健康福祉センターうるみんで開催しました。このイベントは「社会福祉法人の公益的取組みに関する情報交換会」をきっかけにみえてきた、福祉従事者の人材不足の課題とうるま市の失業率の高さからくる生活困窮や子どもの貧困問題といった社会的課題を双方向から取り組むことを目的に、「うるま市パーソナルサポートセンター」、「就活サポートであえ～る」と労働・福祉協働で開催しました。

当日は、市内9か所の社会福祉法人が参加し、求職者に福祉の仕事とその魅力に触れていただくとともに、求人情報や福祉の仕事・職場についての紹介や相談等を行いました。

イベントをきっかけに、一人でも多くの市民の皆様にも、夢や希望を感じることでできる雇用の機会の提供とともに、未来ある子どもたちが安心して地域で夢や希望を育むことのできる環境の一助となればと思います。



求職者との面接の様子



社会福祉法人ごとの求職者ブース

社会福祉法人
の
公益的取組み

「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

～支援の輪が広がっています～

多くの企業や個人よりたくさんの寄贈がありました。
みなさまからのご支援・ご協力、心より感謝いたします。



やなえもんハートプロジェクト 様

やなえもんハートプロジェクト【支援物資協賛企業・個人】

- | | |
|------------------|-----------------|
| ★(株) J・N・w | ★(株) 花城工業 |
| ★うるま市ゆかいな仲間達 | ★上原 悟 |
| ★豊田 達雄 | ★ダイニング Bar Mana |
| ★たあーみいー (那覇市) | ★居酒屋はん |
| ★ちやいな食堂らく | ★いこい処うさぎ |
| ★愛音楽はうす (アネラハウス) | ★佐久川 みなよ |
| ★又吉 | ★奥濱 定彦 |
| ★佳織・ほなみ | ★川上 裕也 |
| ★なっちゃん・星羅 | ★東門 ちはる |
| ★早苗・こたろう | ★Pa - rin ・留美 |
| ★ayame | ★池田英樹 |
| ★Tomomi | ★和心 |
| ★金城 | (順不同・敬称略) |



海上自衛隊沖縄基地隊 様、海上自衛隊海洋観測所 様
沖縄四樹の会 様、(株)大川工業 様



Life Style Café 様



沖縄ヤクルト(株) 様



居酒屋わらわら 様



(有)宇堅総合開発 様

支援の実績 (令和3年4月～令和4年3月分累計)

これまでに集まった食品数

約5,400品

配布した件数

支援が必要な世帯 約400世帯
子ども食堂(居場所) 延 92 か所



カーブス 様

「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

★ ～じぶんの買物でだれかを幸せにするしくみ～ ★

『イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン』

5月22日(日)イオン具志川店にて「2021年度イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」団体贈呈式が行われ、本会も10万8千円分のギフトカードをいただきました。

この活動は、イオングループが2001年から全国で展開している取り組みで、毎月11日の「イオン・デー」にお客さんが買い物して受け取った黄色いレシートを応援したい地域団体のボックスに投函し、1年間のレシート合計額の1%を団体に寄贈するというものです。

今回、本会も支援を必要とする生活困窮世帯等への食料や日用品の購入を目的にエントリーさせていただきました。

贈呈式に列席した本会の上原満事務局長は、受贈団体挨拶で「皆様の思いやりでいただいたギフトカードは、支援を必要とする市民のために大切に活用させていただきます」と感謝を伝えました。

ご尽力いただいたイオン琉球様、本会へご投函くださいました市民の皆様にご感謝申し上げます。

本会では、引き続き2022年度もエントリーさせていただき、支援を必要とする方々のために活用させていただければと思っています。

市民の皆様のご支援よろしくお祈いします。

キャンペーンの詳細はこちらから



<https://www.aeon.info/sustainability/social/yellow/>



沖縄県災害派遣福祉チーム

『DWATおきなわ』チーム員として、うるま市社協より3名登録！

本会職員3名が「県災害派遣福祉チーム登録・養成研修」を受講し、DWATチーム員として登録されました。その後、県の要請により、新型コロナウイルスのクラスターが発生した施設(2か所)の現地対策本部の応援として、チーム員3名を派遣しました。

ディワット
DWAT (Disaster Welfare Assistance Team) とは…

福祉専門職(社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士など)4~6名で構成され、一般避難所において高齢者や障がい者、子ども等の災害時要配慮者へ福祉支援を行うチームです。

DWATの主な活動は、①被災者の福祉ニーズの把握と相談対応、②福祉避難所への誘導、③避難所内の環境整備、④被災者への直接的・応急的なケア(介護・保育等)で、要配慮者が避難生活による過度のストレス等で心身の状況が悪化しないよう、支援や相談対応等を状況に応じて行います。

～災害はいつ起こるかわかりません。日頃からの備えが大切です～

「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

【うるま市の障がい者・児の相談先 について】

地域における障がい児・者の総合相談の中核的な役割を担う機関
困り事などに対応しつつ、地域課題を抽出。市内に必要な資源やネットワークの構築等に取り組んでいます

基幹相談支援センター

《うるま市障がい福祉課直営 TEL:098-973-5452(代表)》

- ・福祉に関する総合相談
- ・地域の相談体制の強化(研修・相談支援連絡会)
- ・地域移行・地域定着支援の促進
- ・自立支援協議会の運営
- ・権利擁護・虐待の防止

障害福祉サービスのプランを作成する相談員本人と契約をしてプラン(サービス等利用計画)を作成します

うるま市から委託

地域の相談員
日々の相談、生活に関わる相談を受けています

計画相談員

その人らしく地域で安心して暮らしていけるようサポートするプラン(※サービス等利用計画)を作るお手伝い

※サービス等利用計画とは、要望や希望に伴う様々な生活課題の解決に向けてその手段を具体的に示したもの

委託相談員 《障がい福祉課の窓口で地域の相談員が輪番で(月～金:8:30～17:15)対応しています》

相談支援事業所 あいあい

うるま市安慶名1-8-1
TEL:098-979-0555



相談支援事業所 石川学院

うるま市石川東山本町1-20-2
TEL:090-6869-5286



相談支援事業所 サマンの木

うるま市前原411-4
TEL:080-6488-9909



相談支援事業所 ハルモニア

うるま市仲嶺530-34 仲嶺ハイツB-13
TEL:090-1943-9579
TEL:080-6488-9904



- ・地域の障がい児者等の相談に応じ、必要な情報提供や助言
- ・障害福祉サービスの情報提供や利用支援
- ・虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整
- ・権利擁護のために必要な支援

※受診歴や障がい児・者手帳が無くても相談できます。どんなことでもまずはお気軽にご相談ください。



福祉サービスの相談



健康に関する相談



家族・家庭に関する相談



就労・将来の相談

令和4年4月現在

「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

令和4年3月の理事会・評議員会において、下記の通り承認されましたのでご報告いたします。
令和4年度の事業については、次の3項目を重点事業として着実に遂行していきます。

重点項目

① 組織体制及び財政基盤の強化

財政面では、厳しい状況が続いており、介護保険事業の経営安定化、社協会費の会員加入促進をはじめとする自主財源の確保を取組みます。

職員間の財務状況の情報共有と各種経費の節減や社協会費等を含めた新たな自主財源確保の取り組みについて、法人機構改革検討委員会を中心とした役職員の協力体制による新たな試みを展開し、法人の健全経営に努めます。併せて、組織再編を図り、現在実施している各種事業の検証、新規事業の創設など組織の体制強化を図ります。



機構改革検討会の様子

② 「第4次うるま市地域福祉活動計画」の推進

地域共生社会の実現のため、令和3年度に市の策定した「第4次うるま市地域福祉計画」と一体的に策定した「第4次うるま市地域福祉活動計画」に基づき、「誰一人取り残さない」地域福祉の推進に取り組んでいきます。

また、評価のための地域懇談会や「うるま市地域福祉活動計画評価検討委員会」を設置し、地域住民、福祉団体等と協働した地域福祉の推進を目指します。

③ 相談支援の充実と福祉教育及び小地域福祉活動の強化・推進

各種の相談活動の取り組みの中から住民ニーズの把握に努め、必要な支援ができる体制づくりに取り組めます。

住民の福祉意識の醸成と支え合いの仕組みづくりに向けた「福祉教育」の推進、コミュニティソーシャルワーカーを軸とした自治会、関係機関、団体、ボランティア、企業等あらゆる主体との連携協働による総合相談体制及び小地域福祉活動の強化を図ります。



自治会での出前講座の様子

令和4年度 社会福祉事業資産収支予算書

(単位＝円)

(収入の部)	勘定科目名	予算額	(支出の部)	勘定科目名	予算額
会費収入		9,100,000	人件費支出		292,565,000
寄附金収入		5,500,000	事業費支出		45,755,000
補助金収入		144,093,000	事務費支出		26,924,000
受託金収入		120,090,000	利用者負担軽減額		26,000
貸付事業収入		400,000	貸付事業支出		767,000
事業収入		1,350,000	助成金支出		16,507,000
介護保険事業収入		61,638,000	負担金支出		654,000
障害福祉サービス等事業収入		9,695,000	流動資産評価損等による資金減少額		0
利息収入		42,000	固定資産取得支出		200,000
その他の収入		2,083,000	積立資産支出		1,256,000
積立資産取崩収入		9,217,000	その他の活動による支出		6,920,000
前期末支払資金残高		34,332,000	予備費		5,966,000
収入の合計		397,540,000	支出の合計		397,540,000

「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

